

氏名 (法人にあっては名称)	自然電力株式会社
住所	福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6 福岡大濠ビル6階

自社等発電所(*1)の有無	無
---------------	---

電気事業の概要	<p>自然電力グループは、「エネルギーから世界を変える」という企業理念のもと、太陽光・風力等、自然エネルギー発電所の設置から電力小売までワンストップサービスの提供をしており、持続可能な社会の構築に向け活動する企業・団体のニーズにお応えします。</p> <p>事業内容： 自然電力株式会社にて、太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業（IPP）、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等を行っております。 また、グループ会社であるjuwi（ユーイ）自然電力株式会社・juwi自然電力オペレーション株式会社では、太陽光や風力等、自然エネルギー発電所のEPC（設計・調達・建設）、O&M（運営・保守）等を行っております。</p>
---------	---

電気の供給における温室効果ガスの排出の抑制等に関する推進体制	<p>■その他の温暖化対策に係る取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所・ご家庭を含めた「需要家」の皆様に対し、引き続き「自然エネルギー由来のでんき」の提供を図ってまいります。 ・IT技術を活用した高度なエネルギー管理の検討により、自然エネルギー利用の選択肢を増やすことを目指します。 ・その他、自然エネルギー普及にかかる活動や情報発信を積極的に行ってまいります。
--------------------------------	---

電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置及び目標	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度実績（2020年度）	0.414 (kg-CO ₂ /kWh)	0.238 (kg-CO ₂ /kWh)
	当年度目標（2021年度）	0.400 (kg-CO ₂ /kWh)	0.200 (kg-CO ₂ /kWh)
	短期目標（2022年度）	0.350 (kg-CO ₂ /kWh)	0.150 (kg-CO ₂ /kWh)
	長期目標（2031年度）	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)	0.000 (kg-CO ₂ /kWh)
	<p>（目標に係る措置の考え方）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出係数（基礎）にかかる当年度、および次年度の方針としては、電力調達における卸取引市場の比率を減らし、代わりとして、よりCO₂排出量の低い電源の比率を増やすことで、改善を図ってまいります。 ・長期的には、自然エネルギー発電所の設置を推し進め、主たる電源をこの自然エネルギー発電所にすることでCO₂排出係数（基礎）0kg/kWhを目指します。 		

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置及び目標	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	再生可能エネルギー ^(※4) -発電量	再生可能エネルギー ^(※5) -導入率
	前年度実績 (2020年度)	0 (千kWh)	0.00 (%)
	当年度目標 (2021年度)	5 (千kWh)	10.00 (%)
	短期目標 (2022年度)	20 (千kWh)	20.00 (%)
	長期目標 (2031年度)	300 (千kWh)	100.00 (%)
	(目標に係る措置の内容) ・当年度・次年度におきましては、風力・小水力等を含め、引き続き自然電力グループ設置の自然エネルギー発電所 (FIT) からの電力供給比率を増やしてまいります。 ・長期的には、バイオマス等を含めたより多様な自然エネルギー発電所からの調達、およびIT技術の利活用 (例：蓄電池技術を利活用した「太陽光エネルギー電		
	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置及び目標		
	年 度	環境価値の確保量 ^(※6)	環境価値の確保率 ^(※7)
	前年度実績 (2020年度)	82 (千kWh)	55.00 (%)
当年度目標 (2021年度)	35 (千kWh)	70.00 (%)	
短期目標 (2022年度)	80 (千kWh)	80.00 (%)	
長期目標 (2031年度)	300 (千kWh)	300.00 (%)	
(目標に係る措置の内容) 弊社の電力料金メニューは「電源に占める非化石証書の割合」で分類されますが、当年度以降、非化石証書の割合が高い (=二酸化炭素排出量が少ない) メニューをお選びいただけるよう、アピールをしております。			
電気の供給における未利用エネルギー ^(※8) による発電量の割合の拡大に関する措置及び目標	特に利用予定はありません。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標	火力発電所は所有しておりません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営/企業活動、国際イニシアティブ「RE100」に関するCO2削減に興味・関心のある事業者様へのコンサルティングを行っています。 ・電力小売事業「自然電力のでんき」のお客様用webマイページにて、「日々の使用電力量、および電源構成を見える化」し、情報提供をしています。 ・「自然電力のでんき」WEBサイトののブログ記事にて、自然エネルギーの普及に関する情報発信を継続的に行っています。 		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社の行動指針には、「地球を楽しもう」「地球の未来に責任を持とう」などがあります。 これらを体現すべく、空調設定温度28℃ (夏季) 及び19℃ (冬季) の徹底などオフィスでの対策はもちろんのこと、「海部山部」といった自然を楽しむ活動を通して、地球温暖化および自然エネルギー100%社会に向けた気づきの場としてまいります。 		

※4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー (太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの) による発電量のうち市内分をいう。

※5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分を除いたものをいう。

※6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

※7 環境価値の確保率とは 上記の確保量を電気の供給量のうち市内分を除いたものをいう。